

宇土市男女共同参画に関する市民意識調査報告書 (概要版)

宇土市 企画部
まちづくり推進課 市民活動支援係
〒869-0492 宇土市浦田町 51
電話 : 0964-22-1111

<調査の目的>

この概要版は、「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果をとりまとめたものです。調査は、男女平等の視点から、市民の男女共同参画に対する意識や家庭生活の役割分担等を把握することを通じて、基本計画の見直しや今後の施策を検討するための基礎資料として活用することを目的として実施しました。

<調査の実施概要>

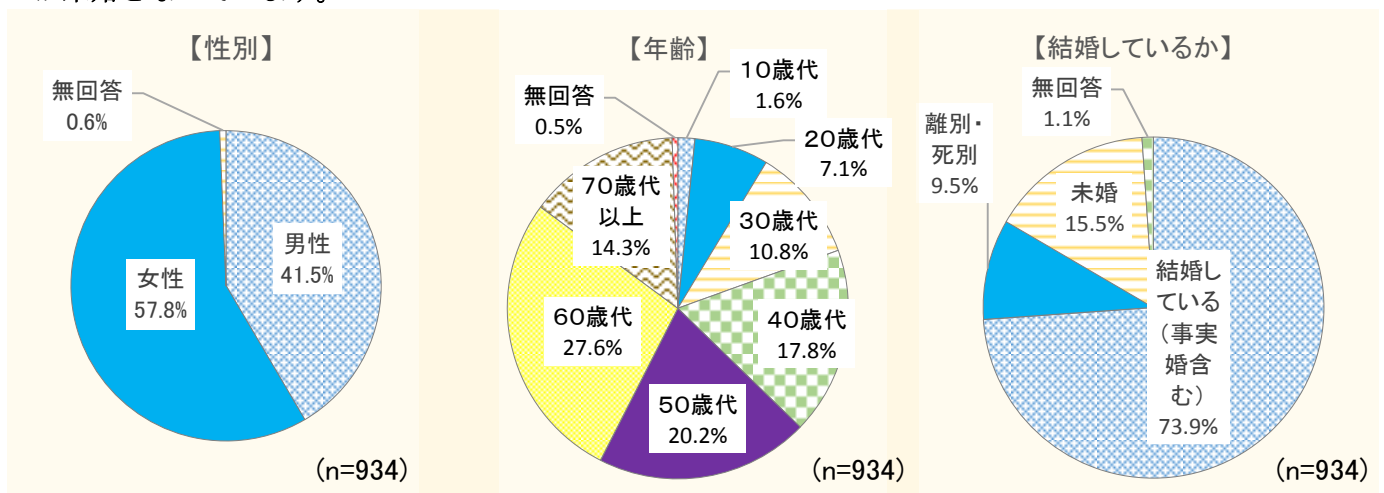
- 調査対象者：満 18 歳～75 歳までの市民 2,000 人を無作為抽出
- 調査方法：郵送による配付・回収
- 調査期間：平成 29 年 11 月～12 月
- 有効回収数, 回収率：934 件, 46.7%

<集計上の留意点>

- ①グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。
- ②集計結果は百分率で算出し、四捨五入（小数点第 2 位）の関係上、百分率の合計が 100%にならない場合があります。

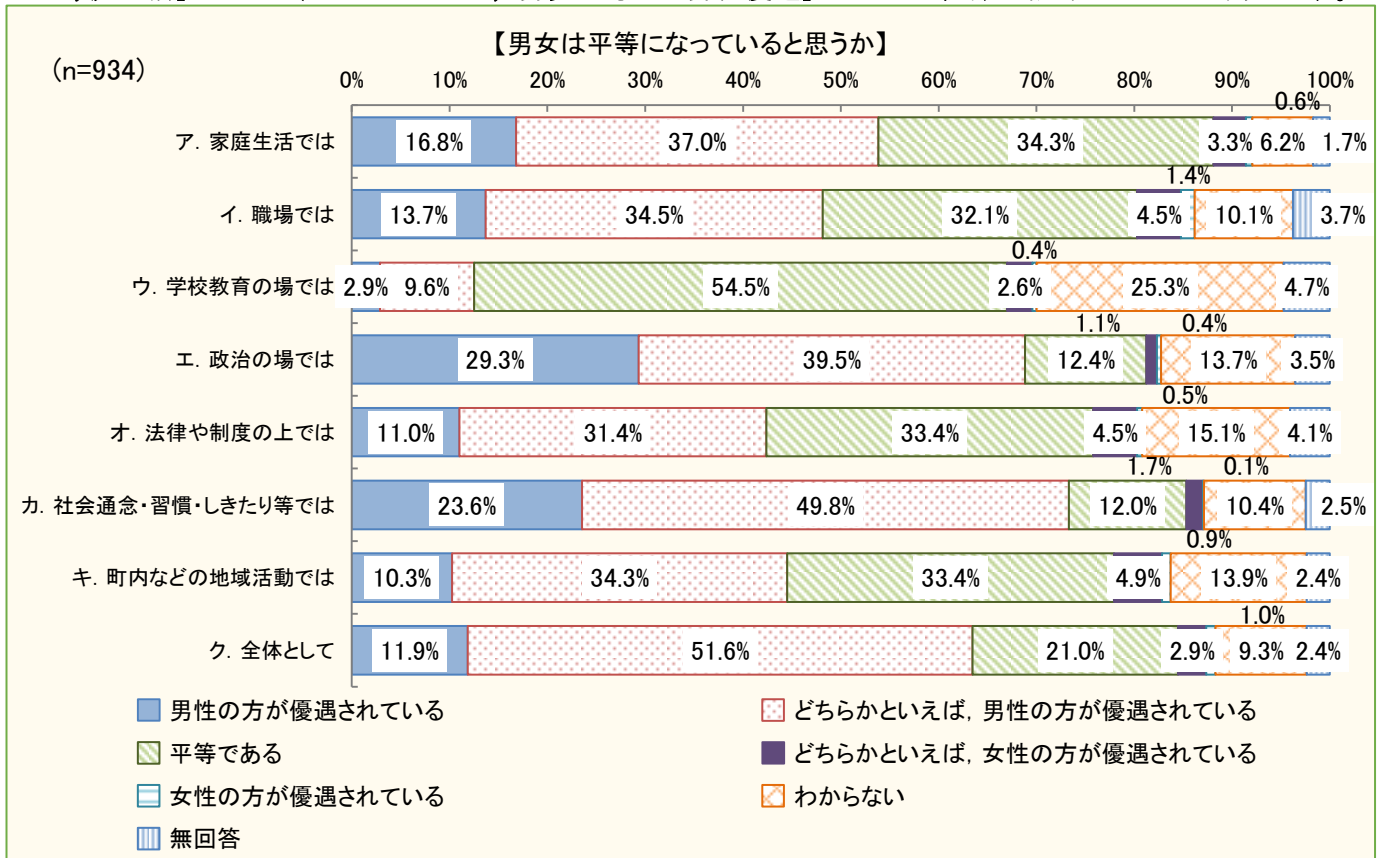
★ 回答者の属性 ★

回答者の性別は女性がやや多く、年齢は 60 歳代が最も多くなっています。回答者の 73.9%が既婚、15.5%が未婚となっています。

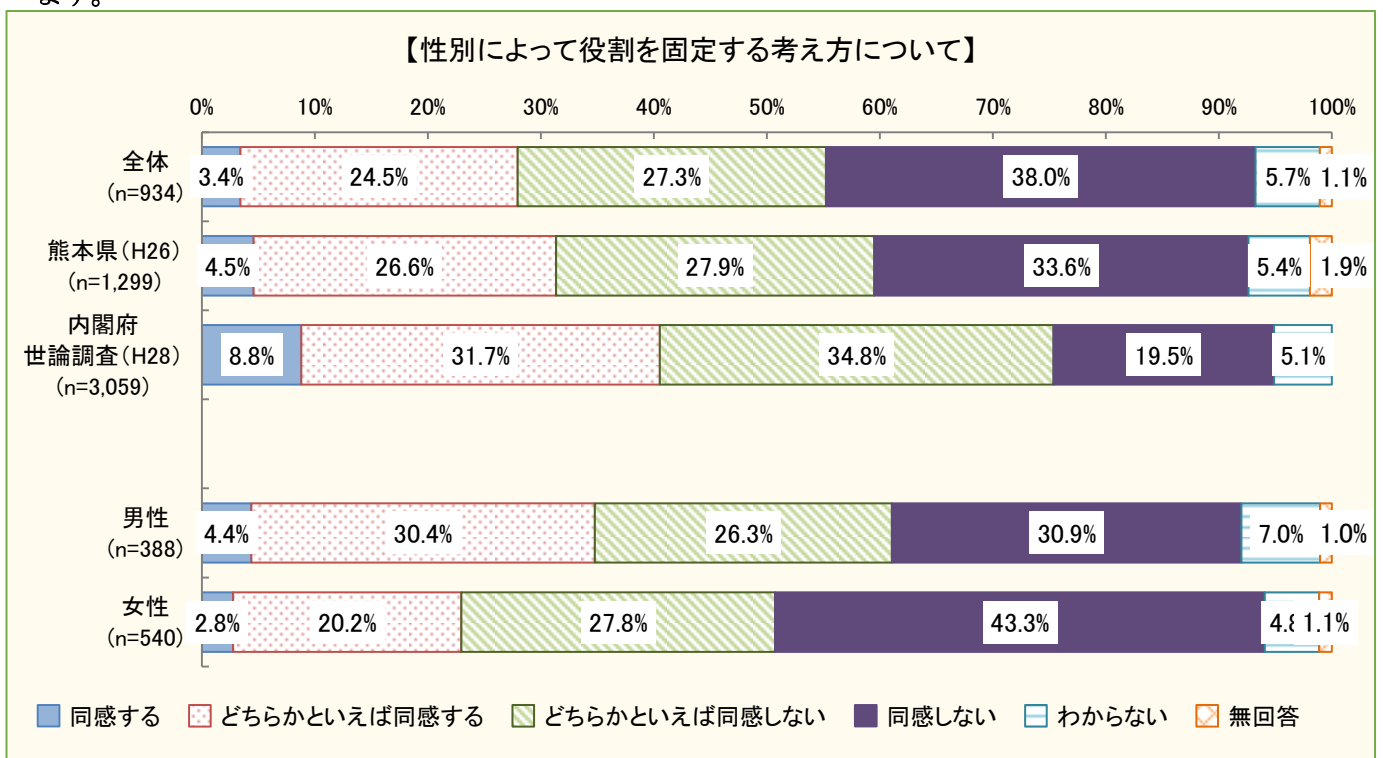


★ 男女共同参画に関する意識について ★

平等感が最も高いのは「学校教育の場」で54.5%となっています。「学校教育の場」以外の分野では、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば、男性が優遇されている」（男性優遇感）の割合が高くなっており、特に「男性優遇」感が多いのは、「社会通念・習慣・しきたり等」で73.4%、「政治の場」で68.8%、「家庭生活」で53.8%となっており、男女ともに「男性優遇」といった認識が強くなる傾向が見られます。

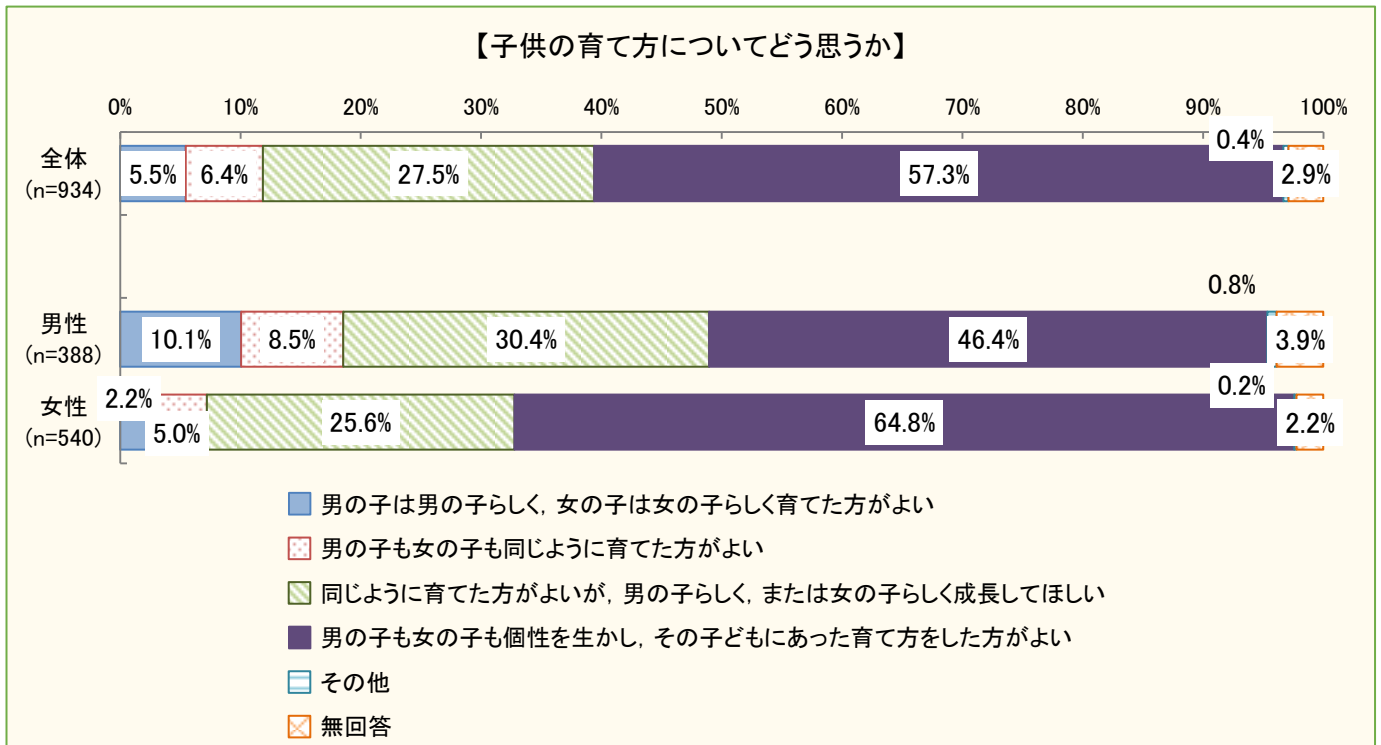


「男は仕事、女は家庭」という考え方（固定的性別役割分担意識）については、宇土市全体では「同感しない」「どちらかといえば同感しない」と回答した割合が65.3%となっています。性別で比較すると「同感しない（「どちらかといえば同感しない」を含む）」の割合は、男性が57.2%、女性が71.1%で、女性の方が10ポイント以上高くなっていることから、女性の方が役割を固定する考え方に否定的なことがわかります。



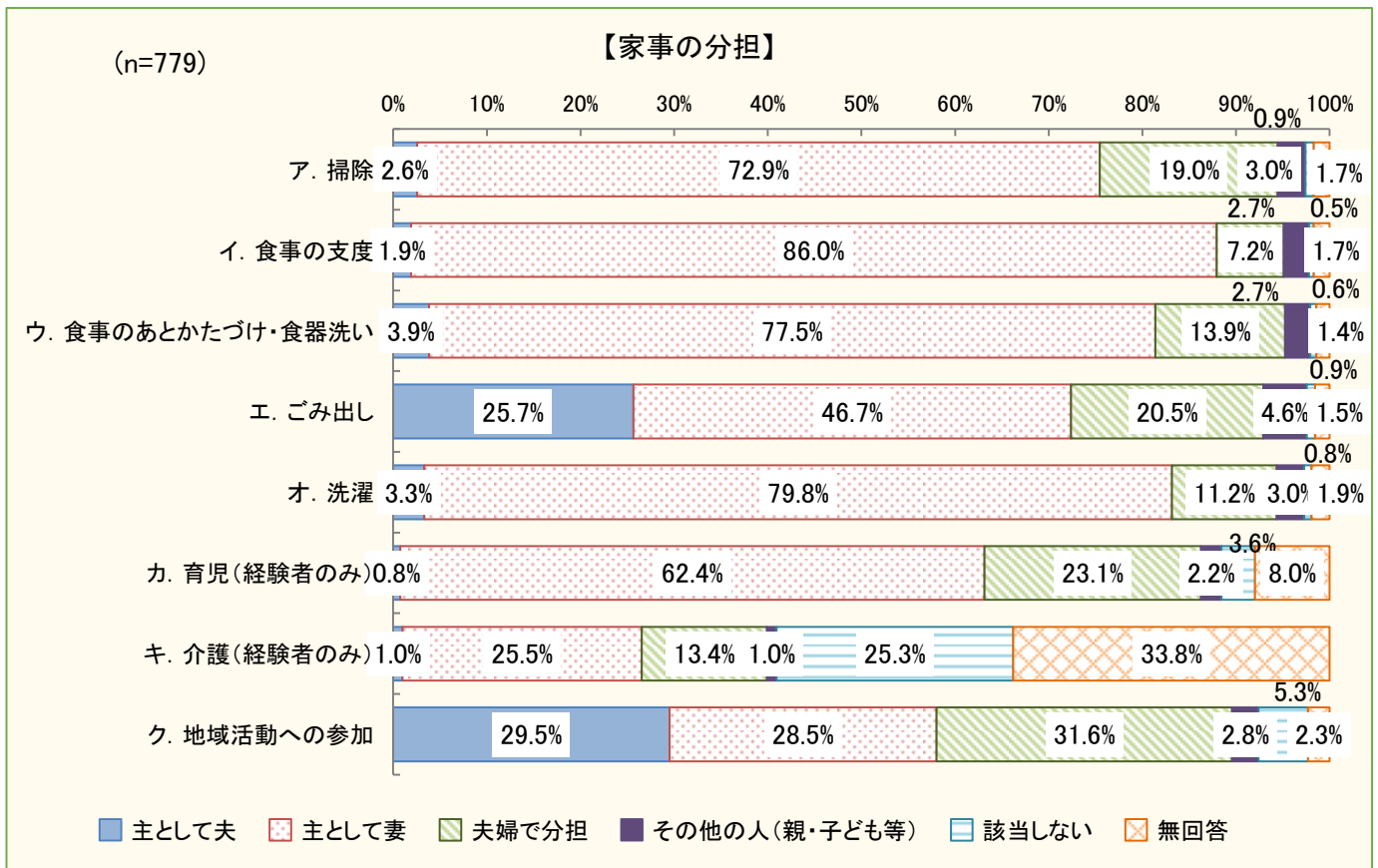
★ 子育てについて ★

子どもの育て方について、「男の子も女の子も個性を生かし、その子どもに合った育て方をした方が良い」の割合が、全体では57.3%、男性では46.4%、女性では64.8%とそれぞれ最も多く、次いで、「男の子も女の子も同じように育てたほうがよい」が33.9%となっていますが、「男の子らしく、女の子らしく成長してほしい」という「男の子らしさ」「女の子らしさ」を求める割合も33.0%と、同程度となっています。



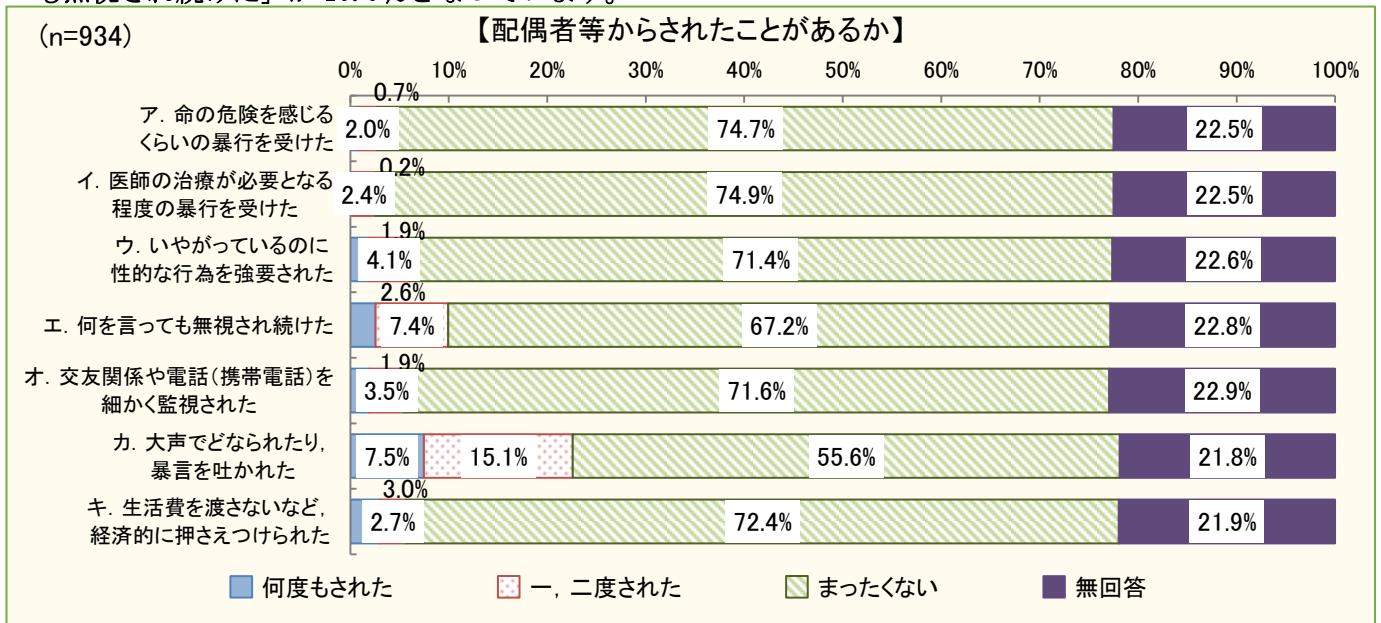
★ 仕事・家庭生活・地域生活について ★

家庭内での家事分担については、ほとんどの項目で「主として妻」を選んだ人が多く、特に「食事の支度」が86.0%で最も多く、「洗濯」、「食事のあとかたづけ・食器洗い」、「掃除」についても7割を超えています。「主として夫」が担う割合は「地域活動への参加」が29.5%、「ごみ出し」が25.7%で、それ以外は、4%未満となっていることから、夫婦間での家事分担が妻に偏っている傾向が伺えます。



★ 暴力等について ★

配偶者やパートナー間での暴力については、「何度もされた」「一、二度された」との回答がほとんどの項目で1割未満となっている中、「大声でどなられたり、暴言を吐かれた」の割合が22.6%、「何を言っても無視され続けた」が10.0%となっています。



★ 男女共同参画の推進について ★

宇土市に対して、男女共同参画社会づくりを進めていく上での要望については「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりについて、事業所などに広く理解を求めること」の割合が最も高く半数を超えています。また、職場で男女共同参画社会づくりが積極的に進むために必要なことについては、「職場で働く人それぞれが男女共同参画についての意識を高めること」との考えが多いことから、行政からの働きかけも必要ですが、一人一人の意識改革の必要性を感じていることが伺えます。

